

(別添4)

## 【草加市】

### 1人1台端末の利活用に係る計画

#### 1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

基本理念：生きる力を共に教え育てる草加の教育

##### (1) 教育理念を踏まえた本市の教育

変化の激しい時代の中で、学校教育には一人ひとりの児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、その能力・態度を育成してまいります。

また、学校教育を支える基盤的なツールとして、ICTは必要不可欠なものであることから、日々の授業において教具として効果的に活用できるようにしてまいります。その際、児童生徒の発達段階や情報活用リテラシーの習熟度は異なるため、情報モラル教育を含めた正しい活用方法等の指導を行い、安全安心に活用できる情報活用能力を身に付けることを目指します。

##### (2) 「令和の日本型学校教育」を踏まえて

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に資するよう、GIGAスクール構想により1人1台端末環境と高速大容量の通信ネットワーク環境を最大限生かし、個別最適な学び、協働的な学びの一体的な充実のため、子どもたちがICTを文具として日常的に活用できるようにするとともに、対面指導と家庭や地域社会と連携した遠隔・オンライン教育とを使いこなすハイブリッド化など、これまでの実践とICTを最適に組み合わせ、学校教育における様々な課題を解決し、教育の質の向上につなげていきます。

具体的には、

- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、児童生徒自身により端末の自由な発想で活用し、プログラミング的思考、情報モラル等に関する資質・能力も含む情報活用能力を教科等横断的に育成します。
- ・教育データの収集・分析により、経験的な仮説の検証や個々の子どもの効果的な学習方法等を特定し、子どもの学習状況に応じた教材等の提供により、知識・技能の習得等に効果的な学びを行います。また、子どもの学習や生活習慣など、心身の健康状況等に関する様々な情報を把握・分析するとともに、保護者とも共有し、対応の必要な問題を早期発見・解決してまいります。
- ・同時双方向型のオンライン指導を通じた家庭学習や、オンラインを活用して学校・教師・子ども同士のつながりを維持します。

#### 2. GIGA第1期の総括

本市では、コロナ禍以前より、コンピュータ室や電子黒板の整備及び指導者用デジタル教科書などICT環境の整備・充実に取り組んできました。

令和2年度には、国のGIGAスクール構想を踏まえ、1人1台端末を整備し、教科や学習場面に応じて、日常的に活用しています。児童生徒が自分の考えをまとめ、リアルタイムで考えを共有する授業支援ソフトウェアなどを活用し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に推進してきました。

コロナ禍では、臨時休校等の学びの保障の取組として、ウェブ会議システム等を活用したオンライン学習を実施しました。また、インフルエンザ等による学級閉鎖や出席停止時でも重要なツールとなっています。

ICTの活用が進んだ結果、教職員一人ひとりのICT活用能力が高まり、個別最適な学びと協働的な学びが促進されたほか、やむを得ず登校できない児童生徒に対するオンライン学習の実施が進みました。多くの事例を積み上げ、効果的なICTの活用事例を共有する教職員研修が充実してまいりました。今後はさらに教務、校務、学びの充実のための教育DXを推進してまいります。

### 3. 1人1台端末の利活用方策

#### (1) 1人1台端末の積極的な活用

- ・教職員がICT活用の目的を理解し、指導力を向上できるよう、活用に関する研修をこれからも引き続き計画的・定期的を実施してまいります。
- ・ICT支援員を継続的に配置し、授業支援や実践事例等の蓄積・情報共有を行います。
- ・学習者用デジタル教科書の全校展開、AIドリルの導入を検討してまいります。

#### (2) 個別最適な学び・協働的な学びの充実

- ・本市の教育振興基本計画で推進している、自己肯定感・自己有用感・他者理解を促すため、自分で調べ、考えをまとめ、発表・表現する場面を設け、自身の学びを広げていくために、教育委員会主催のプレゼンテーションコンクールを実施し、1人1台端末の活用を促進します。
- ・課題解決や学習調整に1人1台端末が根付き、児童生徒自身が使い方を選択できるようにします。
- ・児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組み、個別最適・協働的な学びの一層の充実を目指します。

#### (3) 学びの保障

- ・授業支援ソフトウェアやウェブ会議システムを活用したオンライン学習により、学校と家庭をつなぎ、感染症等による出席停止や病気による入院、学校に登校できない児童生徒の支援等のための、学びを止めない学習環境を整備します。